

令和4年度 大森駅周辺地区グランドデザイン計画事業取組紹介
スポーツ・文化・国際都市部

分野別方針	2.活発な地域活動による地域力のまち	
事業名(件名)	OTAふれあいフェスタ	 <p>【水のエリア】 ごちそうストリート</p>  <p>【太陽のエリア】] 大道芸</p>
令和4年度取組報告	<ul style="list-style-type: none"> ・OTAふれあいフェスタは、「人と人の輪」を育む目的で平成2年から開催され、令和4年度は第33回目の開催となりました。 ・「人のつながり」や「地域とのふれあいの大切さ」を再認識できる区内最大の区民まつりとして認知されています。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会場やステージプログラムを縮小して開催しました。区内商店街から人気のお店や、友好都市を含む自治体などが出展し、二日間延7万5千人の方に来場いただきました。 	
令和5年度取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・実施する場合は、区内各団体及び企業の協力を得ながら、区民に楽しんでいただけるイベントとなるよう取り組みます。 ・フェスタの開催を通じて、まちの賑わいを創出し、地域活性化や地域連携が深まることを目指しています。 	
掲載ホームページ	<p>「OTAふれあいフェスタ2022」を開催しました！ <アドレス> https://www.city.ota.tokyo.jp/event/event_kankou/festa.html</p>	
分野別方針	1.大森海苔や旧東海道などの歴史・文化、臨海部施設の魅力あふれるまち	
	8.区民(地域)活動団体と行政が連携した、大森貝塚や馬込文士村などの歴史・文化のかおるまち	
事業名(件名)	大田区ミュージアムガイド	
令和4年度取組報告	増刷はせずに関連施設などへの配布のみ実施しました。	
令和5年度取組予定	最新の情報に更新した上で増刷予定です。	
掲載ホームページ	<p>大田区ミュージアムガイド(令和2年3月発行) <アドレス> https://www.city.ota.tokyo.jp/kuseijoho/shiraberu/museum_map.html</p>	
分野別方針	1.大森海苔や旧東海道などの歴史・文化、臨海部施設の魅力あふれるまち	
事業名(件名)	常設展の充実 おおた歴史探検ガイドの活用	 
令和4年度取組報告	<p>【郷土博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域博物館として大田区の歴史に関する資料の収集、保管、展示を行い、区内外への啓発や区民のシビックプライドの醸成に努めました。 ・区の歴史を時代に合わせた4つのテーマでわかりやすく展示し、興味のある分野への促し、教育分野に沿った見学ができるように努めました。 ・「馬込文士村コーナー」では、人気の高い新版画を展示しながら、当時活躍した文士の紹介とともに魅力ある大森の地の歴史を伝えました。 ・非接触型の情報検索システムのさらなる活用を推進し、安心して学べる機会を創設しました。 	
令和5年度取組予定	博物館で行う「特別展」や「常設展」と連動し、勝海舟記念館、大森海苔のふるさと館とリンク展示を行いながら、区の資料を研究し、展示や講演会、出張事業等で大田の歴史を伝えます。	
掲載ホームページ	<p>大田区立郷土博物(トップページ) <アドレス> https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/manabu/hakubutsukan/index.html</p>	

令和4年度 大森駅周辺地区グランドデザイン計画事業取組紹介
スポーツ・文化・国際都市部

事業名（件名）	海苔の生育観察事業	
令和4年度取組報告	<p>【大森 海苔のふるさと館】 かつて大田区の海辺で見られた海苔づくりの光景をふるさとの浜辺公園で再現して、実際に収穫までの観察を現場で行うことで、地域の歴史や伝統を学ぶ機会を提供しました。</p>	
令和5年度取組予定	<p>同上 海苔付けから収穫までの生育観察を一年を通じてふるさとの浜辺で行い、貴重な学ぶ機会を提供します。</p>	<p>(写真等)</p> 
掲載ホームページ	<p>大森 海苔のふるさと館 https://www.city.ota.tokyo.jp/shisetsu/hakubutsukan/oomori_norinofurusatokan.html ※詳細は「大森 海苔のふるさと館HP（独自）」をご覧ください。</p>	
分野別方針	8.区民（地域）活動団体と行政が連携した、大森貝塚や馬込文士村などの歴史・文化のかおるまち	
事業名（件名）	郷土博物館友の会及び馬込文士村ガイドの会、大森麦わら細工の会への側面支援	
令和4年度取組報告	<p>・自主活動に取り組む各区民団体の活動を学芸員が側面支援し、自らの興味・学びの実現に取り組みました。 ・馬込文士村ガイドの会は、新型コロナウイルスのため活動を自粛していましたが、徐々に再開し新規ボランティアガイドの募集や講座などを行いました。</p>	
令和5年度取組予定	<p>各区民団体の自主活動の側面支援を学芸員の専門分野知識を加えることで強化・継続させるとともに、今後の合同企画展開催実現に向けて各団体の活動や研究成果をまとめるなど、計画の立案やイベントの調整を進めていきます。</p>	
掲載ホームページ	<p>郷土博物館友の会HP（外部） 〈アドレス〉 https://www.ofm-tomonokai.com/</p>	
事業名（件名）	大森沿岸の海苔づくりの歴史を伝える催事の開催	
令和4年度取組報告	<p>【海苔づくりの伝統技術を学ぶ機会の提供】 ・海苔のふるさと館の職員から、直接、海苔つけ体験の技術を受け技術継承の機会とする「海苔つけ体験」を開催しました（計11回）。 【海苔文化をはじめとした、大森沿岸をテーマとした企画展の開催】 ・「写真家の卵が捉えた海苔と共に生きる大森の人々」大田区在住のカメラマンが、大学時代に撮影した大森の海苔養殖の風景と、それを生業とする人々を写した写真を展示し、かつての大森の風景を感じていただく機会としました。 ・「新収蔵品展 昭和から令和へ受け継ぐ」平成30年度以降に寄贈された資料の中から、海苔づくりに関連する資料や写真を展示しました。 ・「海苔養殖の一年と冬の一日」かつての海苔養殖の作業に関する写真の展示などを通して、一年間の作業と共に、冬の収穫期の一日の作業を解説しました。</p>	
令和5年度取組予定	<p>・初めての海苔つけ体験（計8回） ・大森の伝統を学ぶ海苔つけ体験（講義と体験計3回）を開催します。 かつての大森伝統の海苔づくりを学び、乾海苔づくりを体験します。 【企画展の開催】 ・海苔づくりや大森などの大田区沿岸部の歴史などをテーマに開催（計3回）します。</p>	
掲載ホームページ	<p>大森 海苔のふるさと館 https://www.city.ota.tokyo.jp/shisetsu/hakubutsukan/oomori_norinofurusatokan.html ※詳細は「大森 海苔のふるさと館HP（独自）」をご覧ください。</p>	

